

平成27年度第2回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成27年11月26日（木） 10:00 ～ 11:00

場 所 桑名市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（4名）

東川 薫

伊藤由美子

佐藤 久善

藤田 素弘

事務局（7名）

水谷 正雄（総務部長）

丹羽 孝至（契約監理課 課長）

加藤 一吉（ ” 課長補佐兼検査指導係長）

伊藤奈雄図（ ” 課長補佐兼契約係長）

藤堂 真志（ ” 契約係）

稲垣 吉文（上下水道部 企画総務課 課長）

大平 善英（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事担当課（8名）

小林 隆司（建築住宅課 課長）

出口 敏幸（土木課 課長）

橘田 竜一（土木課 維持第二係）

黒田 法雄（多度地域振興課 主査）

松田 幸寿（上下水道部 次長兼工務課長）

栗原 繁憲（ ” 工務課主幹）

西田 勝彦（ ” ）

加藤 和広（桑名駅周辺整備事務所 所長）

事 項

1 開 会

【事務局】

おはようございます。本日は、ご多忙の中、ご臨席を賜りまことにありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから平成27年度第2回入札監視委員会を開催させていただきます。

なお、本日、赤木委員から所用で欠席する旨のご連絡をいただいておりますことをご報告させていただきます。

それでは、最初に、総務部長からご挨拶を申し上げます。

【事務局】

改めまして、おはようございます。総務部長、水谷でございます。

皆様方には、何かとお忙しい中、本年度第2回目の入札監視委員会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

今年も早いものであと一月、当然のことではありますが、本年度の入札・契約上の事務に関しまして、適切に事務を進めております。

一方、民間企業で長年にわたり不適切な会計処理が行われていた事案でありますとか、関東で判明したマンション建設工事施工の過程でのデータ改ざんの影響が、公共工事も含めまして全国に及んでいるとか、また、いよいよマイナンバー制度、これが動き出しましたが、このシステム開発に絡む汚職事件など、不祥事が起きております。しっかりとした制度とそれを適切に運用する人、いずれもが大切であることを改めて認識しているところでございます。

本日は、本年度執行事業についてなどをご審議いただくわけでございますが、委員の皆様方には、ご専門のお立場から忌憚のないご指摘、ご意見を賜りますようお願い申し上げまして、簡単でございますが冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。

本日の議事につきましてはお手元の事項書のとおりでございますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして東川委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

おはようございます。

いつものことながら、お忙しい中、お集まりくださりありがとうございます。すでに部長のほうからもご挨拶いただきましたように、日本の企業に限らず、海外の企業とかといった大きな組織でのコンプライアンスの遵守じゃありませんけれども、くい打ちなど、ひっくるめて言うと非常に専門知識が必要なことですので、素人には最後のところは信頼するしかないところでもあるわけですが、この委員会でチェックがしっかりと機能するということが重要かと思っておりますので、今日もよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして東川委員長に議事進行をしていただきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従いまして議事を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

本日の会議は一般公開ということになっております。これ以降の審議につきまして、本日は、傍聴を希望される方がいらっしゃるようですので許可したいと思いますのですが、いかがでしょうか。

【委員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、傍聴人の入場のためにしばらくお待ちください。

(傍聴人 入室)

【委員長】

傍聴される方は、本委員会での写真並びに映像につきましては頭出しの部分に限らせていただくので

よろしく願いいたします。

それでは、早速審議のほうに入りたいと思います。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

まず、議事の（１）入札及び契約手続きの運用状況につきまして、事務局のほうから説明をお願いいたします。

【事務局】

改めまして、おはようございます。事務局の伊藤でございます。

座って失礼いたします。

それでは、入札及び契約手続きの運用状況についてご報告をさせていただきます。

まず、指名停止の状況でございます。

資料のほうは、１ページ、２ページをごらんください。

今回の審議対象期間であります平成２７年４月から８月の５カ月間に指名停止措置を講じた件数は、資料のとおり１１件でございます。主なものとして、本市が独自に指名停止を講じた案件につきましてご説明いたします。

２ページの左から３番目の案件をごらんください。

平成２７年５月１５日に実施いたしました「粗大ごみ収集運搬業務委託」の指名競争入札におきまして、多度運送有限会社が最低価格にて落札したにもかかわらず入札価格に錯誤があったとして契約の締結を辞退いたしました。このことは、桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第２第７号の不正または不誠実な行為に該当いたしますので、当該事業者に対しまして２カ月の指名停止措置を講じたものでございます。

他の１０件につきましては、三重県が実施いたしました指名停止に合わせまして本市でも同等の措置を講じたものでございます。

次に、談合情報の状況でございますが、対象期間内において寄せられたものについてはございませんでした。

以上でございます。

【委員長】

ただいまのところにつきまして、ご質問並びにご意見等はございませんでしょうか。

【委 員】

（特になし）

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、続きまして、議事の（２）でございます。抽出事案の審議についてに移りたいと思います。

まず、審議に先立ちまして、抽出案件の５件について説明を得るため入札監視委員会条例第６条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、関係者の出席を求めます。お願いします。

(工事担当課 入室)

【委員長】

それでは、審議に当たりまして、今回の5件の抽出理由につきまして私のほうから説明をいたします。今回は赤木委員に案件を抽出していただきましたが、本日は所用でご欠席ということですので私がかわりで抽出理由を申し上げます。

まず、最初の案件でございます。

六華苑事務室及びロビー系統空調設備改修工事についてです。この抽出理由は、応札業者の中で失格が多いということが理由でございます。

次の2番目の案件ですが、市道香取多度線修景整備工事。この抽出理由は、発注金額が高額であり、なおかつ同額入札が多いということが抽出理由でございます。

次の3点目でございます。福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事。この抽出理由は、発注金額が高額であるということでございます。

次の第4番目の案件です。21街区法面地質調査業務委託。この抽出理由は、応札業者の数が多くことと応札業者の中で失格が多いということが抽出理由でございます。

最後の5番目、配水管設計業務委託3工区。この抽出理由は、応札率が高いということと3者中2者が無効になったということが抽出理由でございます。

抽出事案 1 六華苑事務室及びロビー系統空調設備改修工事

【委員長】

それでは、第1案件、六華苑事務室及びロビー系統空調設備改修工事につきまして、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局のほうから発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

【担当課】

それでは、説明させていただきます。

建築住宅課です。よろしくお願いいたします。

工事概要についてご説明させていただきます。

工事名称、六華苑事務室及びロビー系統空調設備改修工事でございます。設計金額といたしまして、320万7,600円でございます。工期につきましては、契約日から平成27年11月14日までとしております。

概要につきましては、六華苑管理棟の空調設備におきまして、事務室とロビー系統の空調機を取りかえる工事であり、それに関係する電気設備及び建築補修工事でございます。

理由といたしましては、ロビー空調機など、機器設置から約20年が過ぎ、修繕費用が多額となり、さらに修繕でも対応できなくなったことにより改修することになりました。内容は、ロビー用として空冷ヒートポンプエアコン屋外機とその屋内機を取り換え、事務室に天井カセット形エアコンと、事務室に附属している湯沸かし室に送風機のサーキュレーターを設置いたしました。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明申し上げます。

資料のほうは8ページをごらんください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件は、市内に本社または本店を登録している管工事業の許可業者で、経審点数450点以上の者のうち、完成工事高が予定価格の2分の1以上あり、同種工事施工実績といたしまして、平成17年度以降、官公庁が発注した案件で冷暖房空調設備工事の実績を有することとし、技術者要件につきましては、現場代理人及び主任技術者を配置することとして公告いたしました。

続きまして、入札の経過及び結果でございます。

資料は9ページをごらんください。

平成27年7月29日に入札を行いましたところ8者から応札があり、開札の結果、6者が最低制限価格算出基準価格を下回り、1者が予定価格を上回ったため失格といたしました。基準価格以上で予定価格の範囲内であった株式会社誠電を落札候補者といたしまして事後審査を行いました結果、適格でございましたので当該事業者を落札者と決定いたしまして、税抜き263万円で契約を締結いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

【委員】

20年経過したということで、普通に考えるとこういう空調システムって、今、省エネが相当進んでいるところで、省エネ効果みたいなものを含めて何か考えられておられたらお聞かせください。

【担当課】

お答えさせていただきます。

省エネ効果になると思うんですが、修繕費用を少しでも少なくするために、改修前におきましては、事務室と湯沸かし室とロビーと一体になった空調機が設置されておりました。それですので、例えば、事務室が故障しますと、ロビーと湯沸かし室までも空調機が動かなくなったということで、それに伴いまして、そういう系統を、ロビーの系統と事務室の系統というふうなことに分けさせていただきまして、機械の修繕をしたときでも、そういう部門、部門で修理の対応ができるようにさせていただいたというのが、省エネにはそれは関係ないんですが、そういうふうにご考慮させていただきまして今回対応させていただきました。

以上でございます。

【委員】

でも、新しくすると、年間にすると相当省エネ効果が出るのではないかなということで、それは電気代の節約という点、環境の面でもございますし、その辺も何か当然考えてもいいんじゃないかなと思うんですけど、今の回答で大体わかりました。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

【委員】

今のと似ているかもしれないですが、機械自体は、このタイプのものというような指定になっているのでしょうか。

【担当課】

指定ということではなくて、こういうような性能のものであるということで発注をさせていただいております。

【委員】

そうしたら、各会社さんは、それぞれ自分のところが調達できるもので応札されたということですね。わかりました。

【担当課】

そのとおりでございます。

【委員】

ありがとうございます。

あと、もう一つ、続けてよろしいですか。

予定価格を上回って失格になっているようなんですけれども、予定価格というのは、本来、公開されているんですよね。

【事務局】

事前に公表しております。

【委員】

それを上回るというのは、いろいろミステイクなんですか。

【事務局】

実際にお伺いしておるわけではないので実際のところはわかりませんが、事前公表しているところからいって、勘違いなのか、入力間違いなのかというところが、可能性が高いと考えております。

【委員】

1者だけ金額が外れているので、そのあたりも、そういうことですね。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

今日は、抽出していただいた委員の方がご欠席なのであれですけれども、この理由の中で、応札業者の中で失格が多いということを挙げられておりますが、この理由についてご説明いただけますか。

【担当課】

自分が今考えられる理由といたしまして、例えば、結局、その中でも金額の大半を占めておるのが空調機器でございます。その空調機器の価格につきましては、一応、データから考えまして、評価といたしましては、一定の掛け率をして設計に入れておるんですが、設備機器につきましては、データの価格と、それと刊行物の発行されておるものであればその金額の比較によって掛け率を決めたり、メーカーに直接聞いたりして設計書の中に入れる金額を決めておるんですが、それで、今回、入札に参加された業者さんは、メーカーさんと直接交渉されて、その掛け率以上に価格を引き下げられたんじゃないかなということを推測しておるところでございます。

以上でございます。

【委員長】

ほかの先生、ありますか。今の説明につきまして、ほかの委員の方で。

【委員】

入札としてはこれでいいんですけれども、先ほども言いましたように、年間通じてものすごい電気代がかかるものについては、あまり入札価格を下げたからといって、電気代、省エネ効果が薄くて安い機械を導入する業者から安く落札するみたいな話になると、結果として電気代が高くなってどうなんだろうと思いますので、そのあたり、先ほど、あまりそういうことは考えておられないような雰囲気でしたので、そのあたりも、入札、機械を選ぶときに、いろいろ業者から説明させるとか、どんな配慮をしているとか、そういったことも今後考慮されるべきではないかなと思うんですけど、地球環境の問題とかいろいろありますので。

以上です。

【担当課】

今の先生のご質問なんですけど、当然、機器選定につきましては、先ほどおっしゃられましたように、コスト的にランニングコストが少なくなるような機器というのを大前提であって、また、環境にも優しいというのが今の時代、当然の機器の選定の条件ですので、おっしゃられることに、言葉が足りなかったかもわかりませんが、一応そういうことを前提に見積もり等もとおるというのが現実でござい

ます。

以上でございます。

【委員長】

非常に素人の質問なんですけど、例えば、今回の候補になった機械の種類によって、今までの使い方をそのまま将来も想定してランニングコストの差みたいなものを、金額として何か考慮するみたいなことについてはいかがですか。

【担当課】

今その比較した資料というのは持っていないんですが、当然、年間通じてのコストの比較も検討しながら、機器というものの能力も踏まえて検討しておるということでございます。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましてはこれでよいということにいたしたいと思います。

抽出事案 2 市道香取多度線修景整備工事

【委員長】

それでは、次に、第2案件です。

市道香取多度線修景整備工事につきまして、発注担当課様から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

【担当課】

都市整備部土木課でございます。よろしくお願いいたします。

資料10ページ、工事概要書についてご説明させていただきます。

工事名、市道香取多度線修景整備工事、設計額は2,610万6,840円、工期は平成27年9月1日から平成28年1月22日まででございます。工事箇所は、資料の16ページになるんですけども、この位置図の箇所で、多度町多度地内にございます多度大社の正面に当たる部分でございます。

工事概要についてでございますが、この市道香取多度線は桑名市景観計画において景観重要道路に選定されており、現在、当該地域において進められております多度大社・多度峡周辺修景事業の一環として改修工事を行うもので、道路側溝を含む歩道部を石張り舗装とするなど、多度大社の門前町にふさわしい修景を行うことにより、周辺環境との調和及び地域の活性化を図るものでございます。

内容につきましては、作業土工一式、石張舗装工116平米、U形側溝工（景観タイプ）142メートル、車道外側線工153メートル、構造物撤去土工一式、附帯土工一式でございます。

資料11ページは平面図でございます。道路の片側の路肩について歩道整備を行うものでございます。

資料12ページは標準断面図でございます。道路の片側の路肩側についてU形側溝、石張り舗装、そして、地先境界ブロックによる帯側線を整備いたします。

資料の13、14ページは工法図でございます。U形側溝は、通常の道路用側溝の表面に厚さ25ミリの天然御影石を張った特殊製品を使用いたします。舗装構成につきましては、道路側溝と外側線の間の石張り舗装の断面図でございますが、アスファルト舗装の上に厚さ6センチの天然御影石による舗装を施すものでございます。

資料15ページは石張り舗装工の展開図と既設構造物の取り壊し平面図でございます。

工事概要については以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明申し上げます。

資料は17ページをお願いいたします。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件は、市内に本社または本店を登録している土木工事業の許可業者で、経審点数650点以上の者のうち、完成工事高が予定価

格の2分の1以上あり、同種工事施工実績といたしまして、平成17年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の実績を有することとし、技術者要件につきましては、現場代理人及び専任技術者を配置することとして公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございます。

資料は18ページをごらんください。

平成27年8月19日に入札を行いましたところ7者から応札があり、開札の結果、有効な札のうち最も低い価格で応札した者が6者ございましたので、電子くじにて新成テック株式会社を落札候補者といたしまして事後審査を行いましたところ、適格でございましたので、当該業者を落札者といたしまして、税抜き1,976万9,000円で契約を締結したものでございます。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いします。

【委員】

私那不案内かもわかりませんが、常識的に教えてください。

ざっと予算額は2,200万円というふうになっていまして、設計価格がその段階で上回っています。予定価格も当然上回っていますが、結果として契約価格は予算内におさまっていますけれども、こういうことは、たまたまじゃなくてよくあり得ることですか。

【担当課】

予算額が2,200万となっておりますが、多度大社周辺の修景事業というのはほかにも幾つかの工事がございまして、一括で予算計上されておるうちの2,200万円というふうになってございます。予算計上の時期に、まだ設計の段階でしたのですが、当時の概算での見積もりがこれぐらいになったのに対しまして、今年度から、工事の積算基準のうち経費率が非常に上がったこととか、その辺の要因もございまして、実際に設計額が高価になったという結果でございます。

【委員】

入札というよりは、簡単に、基本的なことを教えていただきたいんですが、ここは、もともとは歩道はあったんですか、なかったんですか。

【担当課】

この道路は、もともと側溝があつて、路側線があつてというふうで、普通の舗装にラインが引いてあつただけの形態でしたが、今度、白線の内側に石張りを張って歩道の形態にすると、こういう計画で事業を進めておるところでございます。

【委員】

歩道をつくるために拡幅はしているわけですか、山際を削ったりとか。歩道は、大体、そうすると何メートル幅になるんですか。

【担当課】

まず、道路拡幅をしているかということに関しましては、現状の幅員の中で整備しております。

歩道の幅につきましては、図面が小さくて見にくいんですけども、15ページの図面のちょっと上のほうに展開図がございまして、これが、幅員が一定していないんですけども、大体50センチぐらいから1メートル20ぐらいの範囲の幅となっております。側溝にふたをかけますので側溝の上も有効幅員になりますので、大体1メートルから1メートル70ぐらいの幅になります。

【委員】

今まで側溝があつたけど、そこが、ふたが入ってなくて歩道がちょっと狭かったのを、側溝にふたを入れて整備して、歩道が広くなることでいいんですか。

【担当課】

側溝自体が、以前は通常の側溝でしたが、今回、石張りを張る仕様のちょっと特殊な側溝にする必要がございますので、全て壊して入れかえるという形で工事を進めております。

【委員長】

ものすごく簡単に言ってしまうと、通常の側溝にふたがしてあったものを、よりその景観に合ったような高付加価値のものにかえるという、そういうイメージですね。

【担当課】

そうですね。

【委員長】

ほかにはいかがですか。

同額入札が多い点については、何かご説明はございませんか。

【担当課】

最低制限価格と同額ということで落札率が81.78%ということで、6者の業者さんが入札されておるということで、これも私の推測ですけれども、まず、この額でも、採算というんですか、工事ができるだろうということで6者の方が入札されたのかなとは思います。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

【委員】

今いろんな積算、そういうのが非常に優秀になってきて、審議をこれまで重ねている中でも、こういう同額入札というのは相当件数が出ていると思うんですけれども、このたびの、いわゆる石張り舗装云々の材料については、この仕様のものという指定があつて、だから、同額入札というのが可能になったんでしょうか。それとも、材料は、先ほどのエアコンじゃないですけど、この仕様を満たすものであれば、例えば、違うメーカーのものでもよくてというようなことのバッファがほんとうはあつたのかどうか、その辺が気になりましたので教えていただけるとありがたいです。

【担当課】

材料につきましては、ほとんど見積もりを採用しておるものが多いんですけれども、仕様に関しては、石張り用の石であれば天然の御影石で色が黒いやつと、こういった仕様をつけて発注しております。側溝に関しての、石張りが入る側溝というのは、おそらく限られたメーカーさんの製品になってくるかなと思いますので、見積もりの額というんですか、大体、差がないんじゃないかなというふうに考えます。

【委員】

ありがとうございました。

あと、材料を選ばれる場合に、いわゆる御影石のもので黒色のものという設定で、きっとデザインから来ていると思うんですけれども、歩道が新しくきれいになったところで、雨や雪の日に非常に滑りやすく歩くのに困るということも個人的に私は経験しているので、多度の場合、多少、特にお正月なんかは雪がしとしと降ったりとかということがよくあつたかと思いますが、そのあたり、材料的には問題がないものを選んでおられるのでしょうか。

【担当課】

材料の仕様につきまして、バーナー仕上げとあって、滑らなくて表面にでこぼこがつくような、そういう仕上げの製品ということで仕様書に条件をつけさせていただいてまして、普通のつるつるものよりは滑らないものを使うようにしております。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

お聞きしたいんですけど、多度大社の周りの一帯のことは、観光というか目玉として多くの人が集まるということで、景観を、付加価値を高めていこうとしておると思う。当然、この工区だけではなくて、この周辺の一帯の景観のところが、同じ見栄えになっていないとおかしいですね。連動というか、そういうことは当然考えられているんですよね。私が言うこともないですけど。

【担当課】

道路の整備に関しては、一応今年度の、単年度の単年工事で終了予定で、ちょうど多度大社の門前に当たる部分というんですか、まさにその部分に関して修景を行うというふうで、連続的には今のところは考えてございません。

【委員長】

今後の計画として、わからないけど、ここの続きのところとか、こういう計画とか予定というか、こうしたいというのはあるんですか。

【担当課】

今のところ、道路整備としては予定はございません。

【委員長】

この周辺がわからないけど、やはり、色彩とかも、プロの目から見て不調和というか、そういうのは考えないと、と思うんですけど。

【委員】

私の専門の交通計画的に考えると、手前の道路が非常にいい道路が完成してしまして、車をこちらの多度大社のすぐ横の道路に入れるのは必要ないんじゃないかなと、地元の人は使うでしょうけど、必要ないんじゃないかなと思うんですが、その辺の交通計画とか合わせて、車をどうやって切り回すかといった、そういうことも含めて歩道をどうしようかとか、先ほどの景観の、一帯の統一感をどうしようかみたいな話は、どこか別なところで議論する場はあり、それを受けてこの計画になっていると考えていいですか。

【担当課】

ちょうど道路の設計の段階で、例えば、インターロッキングブロックでやる工法とか、石張り舗装に関しても黒っぽい色とか茶色っぽい色とか白っぽい色とか、いろんな色を使った案をいろいろ比較検討して、また、地元のほうにも意見をお聞きしたりとかもして色合いとかは決定させていただきました。

【委員】

多分、どこかで上位計画をやって、その計画に基づいてそういう道路整備されているんだと思いますが、僕、日ごろから思うんですけど、道路を建設する人もちゃんと、一体どういう計画があって、その中でここを改修しているというのは、もちろん考えてはおられると思うんですけど、そういう観点で地元の人と調整しながらやっていただけるといいかなと。もちろんやっていると思うんですが、あまりそういうようなお話が出てこなかったので、お話をさせていただきました。ありがとうございます。

【委員長】

ほかはどうですか。

【委員】

工期が5月1日から1月22日というふうになっているんですけども、いわゆる歩道側のほう、こちらにある建物というのはほとんどがお土産屋さんでありまして、わからないです、実際の工事はいつからいつか知りませんが、多分、せんだっての流鏝馬行事とかもこの期間に入っているでしょうし、おそらく一番大事なお正月の期間もここに入っていますし、やはり調整されてこの期間内ということになされたのでしょうか。

【担当課】

おっしゃるように、ちょうど流鏝馬祭りが先日ありまして、また、お正月も控えておるということで、そういう期間を想定して工期というのは設定させていただいております。実際、現場のほうも、祭りの時期とか、あと、商店のお客さんのよく入る日とか、その辺は、直接調整しながら工事は進めておるところでございます。

【委員】

ちゃんとやっていただいているなら多分地元もいいと思います。ありがとうございます。

【委員長】

それでは、この案件につきましては、特に入札に関しましては問題がないということで、今、各委員

の先生方から、言うまでもないんですけども、お金をつけるというか、その効果が最大限に、計画的に進めていただきたいと思います。

抽出事案 3 福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事

【委員長】

それでは、次の第3案件です。福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事につきまして、発注担当から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

【担当課】

上下水道部工務課でございます。よろしくお願いいたします。

19ページをお願いいたします。

工事名、福島城下幹線高塚町枝線污水管路修復工事、設計額5,965万560円、工期、平成27年7月21日から平成28年1月22日でございます。

それでは、工事の概要について説明させていただきます。

この工事につきましては、下水道、上水道の一括発注でございます。工法につきましては、開削工法でございます。

まず初めに、下水道でございますが、污水管路布設工、管径150ミリメートル、管種、硬質塩化ビニール管、延長371.1メートル、組み立てマンホール設置工5カ所、小型マンホール設置工、塩化ビニール製のものを6カ所、公共污水枡設置工29カ所、舗装工1,970平方メートル、区画線工一式でございます。

次に、上水道でございますが、事業の効率化を図るため、平成47年に布設した水道の老朽化による配水管布設替えを行うものでございます。工事の内容につきましては、口径50から150ミリメートル、管種、配水用ポリエチレン管、延長481.1メートル、消火栓設置工2カ所、仮設管の布設工一式でございます。

続きまして、28ページをごらんください。

工事場所でございますが、桑名市の高塚町地内でございます。桑名西医療センターの南付近の工事でございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

引き続きまして、発注入札の説明をさせていただきます。

本件、入札担当の上下水道部企画総務課の大平です。

本件、事後審査型条件付一般競争入札で発注をしております。発注入札参加要件としては、市内の土木事業、経審点数が730点以上としてあります。技術者要件は、現場代理人と監理技術者として、平成27年7月7日、入札、開札を行い6者からの応札がありました。その中で、最低制限価格以上で予定価格の範囲内で最も低い応札の株式会社カキトーを契約予定者として、その後の審査の結果、適格と判断して、税抜き4,540万9,000円で契約をしております。

以上です。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いいたします。

【担当課】

委員長、済みません。工務課から訂正をお願いしたいんですけども、先ほどのご説明の中で、私、水道の配水管なんですけれども、平成47年と申しまして、昭和47年の間違いですので、申しわけございません。

【委員長】

ありがとうございます。

それでは、何かないでしょうか。

【委員】

この件には関係ないかもわかりませんが、昭和47年に布設された水道管を補修されるということですけれども、それ以前に設置された水道管というのはもっとたくさんあるんじゃないでしょうか。この間、横浜かどこかで水道管が破裂したりという、前にも田町のあたりで水道管の取り付け部分が、ねじが外れて水が噴出したという件があったと思いますけれども、この件に関係ないかわかりませんが、水道管の耐用年数と、それから、今後、水道管を改良しなければならんというのはどれぐらいあるのか、もしおわかりでしたら教えてください。

【担当課】

佐藤委員のご質問にお答えさせていただきます。

水道管の寿命というのは、今まで一応40年ということで、昭和47年に布設された管ですと約43年経過しております。40年経過した中でも、現在、桑名市には190キロほど40年を経過した管がございまして、中でも漏水が多い地区につきましては、下水道の工事と同乗して布設替えを効果的に行うということで工事をさせていただいておるところでございます。

【委員長】

これは上下水道を一緒にやるというのは、やはり1つのいい意味で合理化をしているということなんでしょうか。

【担当課】

今のご質問にお答えさせていただきます。

一括発注するというので、上下水道部工務課ということで、上水道と下水道部が一緒の課になりますので、工事をするに当たって、同時埋設をさせていただいております。それによって工事費が安くなるという形で、一括でさせていただいております。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては特に問題なしということにさせていただきたいと思います。

抽出事案 4 21街区法面地質調査業務委託

【委員長】

それでは、次に第4案件です。21街区法面地質調査業務委託につきまして、発注担当から委託概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いいたします。

【担当課】

委託概要についてご説明いたします。

都市整備部桑名周辺整備事務所の加藤と申します。よろしく願いいたします。

委託業務名としまして、21街区法面地質調査業務委託、設計金額491万4,000円、履行期間としまして、平成27年6月23日から平成27年8月31日としております。調査目的といたしましては、桑名駅西土地区画整理事業に伴い、法面の設計、施工に必要な地質標本を収集するため地盤調査を行ったものでございます。業務内容としましては、ボーリング工66から116ミリ、3カ所で、計30メートル試掘しております。貫入試験としましては、1メートル毎に行いまして、計30回行いました。サンプリングとしまして1供試体をもらい、室内土質試験を行っております。

以上で説明を終わらせていただきます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明申し上げます。

資料のほうは34ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件といたしましては、県内に本店、支店等がある地質調査業者登録規定による登録業者のうち、同種業務履行実績といたしまして平成17年度以降、官公庁が発注した案件で地質調査業務の実績を有することとし、技術者要件につきましては、現場代理人及び主任技術者といたしまして、地質調査技師、または該当部門の技術士、技術管理者、RCCMのいずれかを配置することとし公告をいたしました。

次に、入札の経過及び結果でございます。

資料は35ページからをござんください。

平成27年6月10日に入札を行いましたところ31者から応札があり、開札の結果、11者が最低制限価格、算出基準価格を下回ったため失格、また、最低制限価格が変動したことにより、9者が最低制限価格を下回ったため失格といたしました。計20者を失格としております。最低制限価格の算出根拠表につきましては、38ページに添付をさせていただきましたのでご参照をお願いいたします。有効な札のうち最も低い価格で応札をしました株式会社東海環境エンジニア三重営業所を落札候補者といたしまして事後審査を行いましたところ、適格でございましたので当該事業者を落札者と決定いたしまして、税抜き340万9,000円で契約を締結いたしましたものでございます。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

【委員】

忘れているのかもしれませんが、入札参加資格要件で、市内業者、準市内業者、県内業者まで範囲を広められているんですけれども、その結果、かなりの数の応札をいただいたということになると思うんですが、これは、県内まで広げる基準って何かあったんですか。

【事務局】

お答えさせていただきます。

本市のほうでは発注基準というものを毎年6月に定めさせていただいておりまして、応札の業者数といったことを勘案させていただいて定めさせていただいておるんですけれども、地質調査につきましては、250万未満のもの、250万円以上から500万未満のもの、500万円以上のものという形で3区分に分けさせていただいておるんですけれども、その3区分ともにつきまして市内業者がいらっしやらないということもあり、全ての区分において県内までという形で発注をさせていただく形でさせていただいております。あとは、主任技術者であったりとかといったものを区分させていただいて、発注基準とさせていただいております。

以上でございます。

【委員】

ありがとうございました。

チェックマークはついているけれども、実質的に市内業者さんはいないということですね。

【事務局】

そうでございます。

【委員】

わかりました。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

今日は抽出した委員の方がご欠席ですので、お聞きします。

応札業者の数が多いということと、今説明もありましたが、結果として失格が多いという理由について。

【事務局】

お答えさせていただきます。

応札業者につきましては、準市内ですと12者の登録がございます。県内の業者まで広げますと、準市内、県内合わせまして205者という形でかなりの数がいらっしゃいますので、その結果により応札業者については多くなったということでございます。

失格が多いということにつきましては、やはり応札可能業者が多いということがほかの業者さんもわかっていらっしゃる部分があると思いますので、そこによって受注意欲が高くなったことによって、できるだけ安くという形で見積もられた部分もあるかと思いますが、そういったことで失格が多くなったということが推測されます。

以上でございます。

【委員】

ほかはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては特に問題ないというふうにいたしたいと思います。

抽出事案 5 配水管設計業務委託3工区

【委員長】

それでは、次に、最後の案件です。配水管設計業務委託3工区につきまして、発注担当課のほうから委託概要の説明をしていただいて、その後、事務局のほうから発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いいたします。

【担当課】

上下水道部工務課でございます。

業務の概要を、資料39ページ、概要書からご説明を申し上げます。

委託業務名は配水管設計業務委託3工区、履行場所は桑名市太夫地内ほか、設計金額は335万3,400円となります。履行期間は平成27年6月8日より平成27年11月30日までとなっております。

本業務は、下水道事業及び駅西土地区画整理事業に伴います上水道配管設計業務を3カ所分委託するものでございます。3カ所は、資料40ページからの位置図にありますように、桑名市太夫地区、西方地区、東方地区となります。

業務の詳細につきましては、現地調査を行い、平面図、断面図、配管図等の図面を作成して、工事発注に必要となります材料、手間などの数量を算出するものでございます。

以上、よろしくご審議のほど、お願いいたします。

【事務局】

引き続き、本件の発注入札についてご説明をいたします。

本件、事後審査型条件付一般競争入札で入札をしております。入札参加資格要件として、準市内の建設コンサルタントとして、技術者要件として、管理技術者、照査技術者のような条件としております。その他として、同時に発注したほかの1工区、2工区の落札候補者となった者の入札は無効として条件を付しております。

次のページになりますが、入札経過として、平成27年5月26日、入札、開札を実施しております。3者の応札があり、ほかの工区の入札の関係で2件無効とし、三重測量設計株式会社を落札候補者として、その後の審査で適格と認め、税抜き310万円で契約を行いました。

以上となります。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ご意見、ご質問等ありましたらよろしくお願いいたします。

【委 員】

こちらに関しては、応札された業者が3者ということで、工事そのものが3工区に分けてということだと、出来レースとは言いませんけれども、3つに割って、応札できるのが3者だと1個ずつ、ほかの結果がわからないので、そんなことにはなっていないかかなと思うんですけども、実際のところ、どうですか。

【事務局】

本件の発注要件の中で、名簿の登録が14者ありまして、その数字を見合わせて、競争になると判断しております。

【委 員】

そうすると、ほかの工区に関してはもっと応札がたくさんあったということでしょうか。本来はこの案件を審議しなきゃいけないのかもしれませんが、1つの工事に対して3工区に分けているという見ないとだめなのかなとか思ったりもするんですが。

【事務局】

入札、開札の結果を見ますと、3つの工区で3者の応札になりました。

【委 員】

ありがとうございます。

実態としては、3工区の工事に関して3者の応札で、結果として、実は1者1個ずつとったというような形になっていますね。

【委 員】

確認をさせていただきたいんですけども、今回の工事は、図面がついております①、②、③、この3つ合わせてやるということですね。ではないんですか。③だけやる？

【担当課】

佐藤委員のご質問にお答えさせていただきます。

今回、3カ所分の発注を3工区という形で出させていただいております。1工区、2工区ともに箇所数が4カ所ありまして、合計で、今年度当初予定しておったのが11カ所を均等に割り振ったという形になります。

【委 員】

太夫地内ほかと書いてありますので、図面がついています、①、②、③、3つやってこの値段ということですね。

【担当課】

そうです。

【委 員】

そうですか。ほかの1工区、2工区の落札候補者となった者は無効として扱うということですから、今回の応札された2番目の見取コンサルタントとか、北斗エス・イー・シーというのが1工区、2工区の落札者と理解していいんですね。

【担当課】

そのとおりです。

【委 員】

それと、もう一つ、1工区または2工区の落札候補者となった者は除外する理由はどういうことなんでしょうか。

【担当課】

今回、分割発注という方法をとらせていただいておりますのは、水道の設計をさせていただく起工理由が支障工事ということで、設計書の作成納期を短くする必要がございます、1者に一括で発注してしまうとなかなか早く設計書をつくっていただくということが難しく、平成23年度ごろから、分割発注という形で、できるだけ設計書を早く作成していただけるように分割発注という手法をとらせてい

ただいております。

【委 員】

今、私どもでわかる範囲は限られているんですけども、3者しかいないというのがわかっているから落札率がこのように99.8%になったなんてことは、うがった見方ということなんでしょうか。

【事務局】

先ほど話しましたように、発注の要件に見合う希望者は14者ということですので、それで、結果として3者しか応札がなかったということで、こちらとしてはその結果だけの話になりますもので、そういうことです。

【担当課】

1つ補足をさせていただきます。

ちなみに、1工区の落札率は79%で、2工区は87%ということで、たまたま今回3分割させていただきまして3業者さんしか応札がなかったということで、3工区が一番落札率が高くなってしまったというような状況でございます。

【委 員】

ありがとうございました。

発注と入札と開札の関係というのは、要するに、タイムラグとかはなくて、ほぼ同じときにやられるということによかったでしょうか。

【事務局】

そうです。

【委 員】

ありがとうございます。

【委 員】

先ほどの話を確認したいんですけど、タイムラグがないというのは、分割発注は一度に行われて、一度に入札を入れて、3者しかなくて、最終的に残ったのが、でも、分割発注に3者とも応札しているわけですね。

【担当課】

そうです。

【委 員】

どういうふうに決めるんですか。順番によっては、どこから決めるかで、あるいは変わってくるような気がするんですけど、同時ですから。

【担当課】

一応、開札のほうは1工区のほうから開札をさせていただきまして、一番落札率が低くなるというような状況かと思っております。

【委 員】

でも、同時にやっているから、全体として、トータルで一番安くなるような業者を選ぶというのは難しい。最初から、1工区から順番にやっていくというのは言っているわけですか。

【担当課】

事前に入札の受付期間というのがございますので、その間に3者しか応札がなくて、開札は、1工区から開札をさせていただいておるという状況です。

【委員長】

基本的なところ、私、誤解している気がしてきたんですけど、1工区、2工区はもっと多くの業者が入ってきて、それぞれ、今回、3工区の他の2者に偶然それぞれなったということではない？ そうではないんですか。

【委 員】

おそらくA、B、Cで分けると、A社は、予定価格の最初に落札した79%というか、多分どの工事

に対してもそれぐらいの見積もりを出してきていて、Bという会社は、87%ぐらいのものを出してきていて、結構ぎりぎりで出したのが今残っている三重測量さんであり、3者しかないので、安いとか、開けたときに一番安いのが最初に消えると、次に残っているのは2番目に高いのと3番目に高いところが残っている、その2つで、2者目は2つ目をとって、3者目は一番おいしい工事をとったという感じに、結果としてはなってしまうということなんですよ。

市内業者さんは何社あるんですか。一応市外まで入れて14社というふうに伺いましたので。

【担当課】

市内業者のほうはゼロということで、準市内まで入れないと競争性が出ないと。

【委員】

ありがとうございます。

14者とも市外業者ということですね。

【担当課】

準市内業者でございます。

【委員】

ごめんなさい。失礼しました。準市内業者さんが14者で、市内業者はゼロということですね。わかりました。

【委員】

ちなみに、第1工区、第2工区、それぞれ応札の業者の数を教えていただけますか。

【担当課】

第1工区も3業者、第2工区も3業者、同一業者が全て3工区とも入札をいただいております。

【委員】

両者も。

【委員】

それで、1番をあけて、2番をあけて、3番をあけたら、前からとっていったら、ここしかないという。

【担当課】

そうです。

【委員】

結果として、先ほど委員が言われたように、同じ業者が98%とか80%とか70%とか、どの工区も同じように出せば、どっちにしても、どうあけても一緒なんですけど、それぞれの業者、ここは安くして、ここは高くして、ここは安くしてだと、あけ方によってはトータルで金額が変わってくるんですけど、なかなかシステムの的に難しい。今回はどうだったんでしょう。

【担当課】

今回応札した、落札率が高どまりしたということで、公開されている中で推測しますと、この3工区をとられた業者さんというのが、ほかの1工区、2工区につきましても予定価格に近い価格で応札をされておられるところで、競争してまで欲しい案件ではなかったのかなというところでございます。

【委員】

したがって、分割発注をしなければ、第1工区をとったところが七十何%、そこが全部、3つとも可能性もあったわけですね、結果として。

【担当課】

そうなります。

【委員】

工事を急がせたということですので、やむを得なかったと思いますけど。

【委員長】

ほかには何かよろしかったですか。

それでは、この案件につきましては特に問題なしとはいたしますけれども、工事の分割の仕方等につ

きまして、専門的知識のない人にわかりやすいような説明の仕方というのを、これからより一層やっていっていただければと思います。

それでは、これもちまして抽出事案の審議を終了いたしたいと思います。発注担当課様はここで退席をお願いしたいと思います。

どうもありがとうございました。

(工事担当課 退室)

【委員長】

それでは、事務的なこととなりますけど、次回の審議案件の抽出は名簿の順番によりまして佐藤委員になりますのでよろしくお願いいたします。

(3) その他

【委員長】

では、次の事項書の(3) その他ですが、何かございますでしょうか。

【委 員】

(特になし)

【委員長】

では、事務局のほうからは何かありますか。

【事務局】

事務局のほうからは特にございません。

3 閉 会

【委員長】

それでは、特にないようでしたら、これで平成27年度第2回の桑名市入札監視委員会を終了させていただきたいと思います。また、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。どうも、今日はお忙しいところありがとうございました。